

### CONTENTS

- コンソーシアムからのお知らせ
- ・デザインフォーラム ビジネスデザインシリーズのご案内
- ・デザインセミナーSeries2「ヘルスケアデザイン」のご案内
- ・京都大学デザインスクール産学交流イベントのご案内
- ・デザインフォーラム ワークショップデザインシリーズのご案内
- ・コンソーシアム総会開催予定等について

#### コンソーシアムの動き

- ・プロフェッショナル・デザインキャンプ開催報告
- ・デザインフォーラム開催報告
- ・推進委員会開催報告
- ・フェロー会合開催報告

#### フェロー紹介

- ・牟田 英正 さん
- ・磯崎 彦次郎 さん

#### 会員紹介

- ・森ビル株式会社
- ・株式会社日建設計

### CONTACT

デザインイノベーションコンソーシアム

ニュースレター発行：  
デザインイノベーションコンソーシアム推進委員会

事務局：  
京都リサーチパーク(株)  
産学公連携部内

〒600-8813  
京都市下京区中堂寺南町134  
TEL 075-315-8522  
FAX 075-322-5348  
<http://designinnovation.jp>  
E-Mail: [info@designinnovation.jp](mailto:info@designinnovation.jp)

本ニュースレターの配信登録・削除は以下からお願い致します。

<https://pro.form-mailer.jp/fms/a54f7d5d58943>

### コンソーシアムからのお知らせ

#### デザインフォーラム ビジネスデザインシリーズのご案内

日程：2014年12月19日(金) 17時30分～ 19時頃～懇話会

場所：京都大学デザインイノベーション拠点  
(京都リサーチパーク9号館5階)

テーマ：ファッションからエレクトロニクス・航空・宇宙まで、  
化学から生まれた先端素材が世の中を変える

講師：出口 雄吉氏 (東レ株式会社 専務取締役)

概要：今年、創業から88年になる東レ。その事業内容は、祖業である繊維からプラスチック・ケミカル、情報通信材料・機器、炭素繊維複合材料、環境・エンジニアリング、さらにはライフサイエンスまで広範囲にわたっています。また、会社(事業)の寿命は30年と言われる移り変わりの激しい産業界にあって、祖業の繊維をはじめ古くから展開している事業が今も世の中のニーズを捉え、成長し続けているのもこの会社の特徴です。最近でも、アパレル製造小売業と提携しての高機能衣料の爆発的普及や、長年にわたって取り組んできた炭素繊維複合材料による航空機の大幅な軽量化・省エネと快適性向上の実現など、幅広い分野で社会の発展に貢献し続けています。

本講演では、「素材には社会を本質的に変える力がある」、「Innovation by Chemistry」を標榜する同社のこのような広範囲かつ息の長い事業展開を可能にしている「源」としての企業哲学や経営戦略、組織、研究開発体制などについて、幹部が自ら事例を交え、生の声で語っていただきます。

参加費： 無料 (懇話会参加者は、参加費1,000円)

申込先：<http://designinnovation.jp/program/post.html>

講師プロフィール：1973年 京都大学理学部物理学科卒業、同年東レ株式会社入社。1998年よりPDP開発推進グループリーダーを務め、2001年に松下プラズマディスプレイ(株)取締役 兼 東レ(株)PDP技術部長に就任。更に、2005年電子情報機材事業本部(技術・生産)担当を経て2009年取締役・研究本部長、2012年常務取締役・研究本部長を歴任、2014年6月より現職。



## デザインセミナーSeries2「ヘルスケアデザイン」のご案内

世界に例を見ないスピードで高齢化が進展する我が国では、健康ブームの高まりもあり、ヘルスケア分野が非常に注目されており、ヘルスケアに関するワークショップも多数開催されています。しかし、現状理解が浅いまに、単なるアイデアコンテストに留まってしまっているのではないのでしょうか。

本セミナーでは、他では得られない講師陣からの深い専門性に基づく講義や健康・医療・介護現場の生の問題意識の提供により、健康増進に留まらず予防、医療、介護にわたるヘルスケアの全体像について、現状はもとより団塊の世代の全員が75歳以上を迎える2025年の状況について深く理解の上で、医療政策や医療従事者だけではカバーしきれない具体的課題を発見していきます。さらに、その課題に対して医療分野外の企業からの参入による解決とビジネス機会の創出を考えていきます。

開催後には、参加者がヘルスケア全体について周囲で最も詳しい人間となり、本セミナーで得た知識・気づきを健康増進に留まらずヘルスケア全体の大きな市場を俯瞰した一步先の製品・サービスの研究開発や事業化に活用することが期待されます。

以下の通り開催を予定しておりますので、ご参加をご検討頂きますよう、お願い申し上げます。

### 開催要項

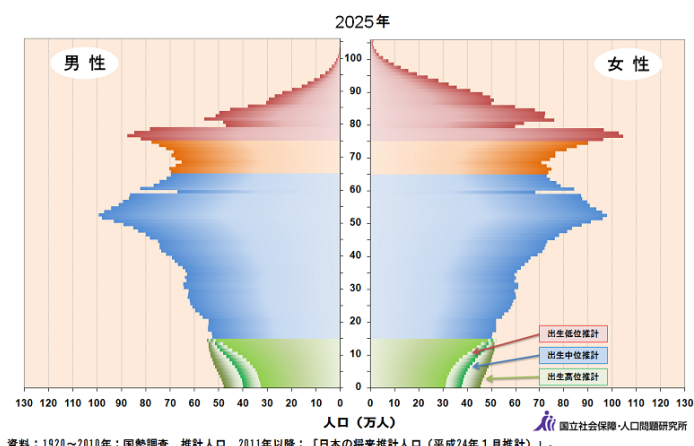
日 程： 2015年2月4日(水)～6日(金)

場 所： 京都市リサーチパーク 京都市下京区中堂寺南町134

テーマ： 医療現場が抱える課題と2025年に向かう医療政策、ICT制度

### 学ぶこと

- ✓2025年を見据える
- ✓医療政策の概略、医療ICTの最前線を知る
- ✓看取りや医師不足など、医療現場が抱える構造的な医療課題などを知る
- ✓政策や研究だけでは解決できない民間の役割に気づく



### カリキュラムポイント



#### 「医療政策」を見据える

最先端の医療政策について、独立行政法人国立国際医療研究センター国際医療協力局長・宇都宮 啓氏にご講演いただきます。宇都宮氏は元厚生労働省保険局医療課長で、医療介護の一体化に長年尽力された方です。



#### 「医療ICT」を知る

エストニアで医療ICT普及を主導されたタリン工科大学准教授のDr. Peeter Rossのご講演により、eHealth先進国・エストニアの政策や現状について理解を深めていただきます。(英語・通訳付)



#### 「医療現場」を考える

健康づくり・介護等の観点から現場が抱える問題点や課題について、地方公共団体や介護施設運営の第一線から話題提供いただき、講師陣と共に議論を深めます。



#### 京都大学医学部附属病院・京都大学によるコーディネート

プログラム全体については、医療情報企画部長の黒田知宏教授をはじめ京都大学医学部附属病院の教員陣、またコーディネート・ファシリテーションは京都大学デザインスクールの教員陣を中心に実施いたします。

## カリキュラム

	DAY 1 2.4 Wed	DAY 2 2.5 Thu	DAY 3 2.6 Fri
9:30～ 12:00	<p>■医療の基礎知識</p> <p>・黒田 知宏 (京都大学医学部附属病院 医療情報企画部長・教授)</p> <p>■2025年に向けた医療政策</p> <p>・宇都宮 啓 (独立行政法人国際医療 研究センター国際医療協力局長)</p>	<p>■医療現場課題①</p> <p>・藤居 敏 (長浜市健康福祉部 健康推進課 課長)</p>	<p>■問いを深める</p> <p>これから企業が取り組むべき問い・ 課題を記述する</p>
13:00～ 17:30	<p>■エストニア先端医療ICT</p> <p>・Peeter Ross (タリン工科大学准教授)</p> <p>■医療政策レポート作成</p> <p>Day1のレクチャーを元に、未来の医 療政策見通し・重要ポイントの項目を チームで議論し、所属組織へのレ ポートとして取りまとめる</p>	<p>■医療現場課題②</p> <p>・引野 雅司 (社会福祉法人丹後福祉会 庶務部長)</p> <p>・末次 友美 (社会福祉法人丹後福祉会 主任介護支援専門員)</p> <p>■医療現場課題③</p> <p>・調整中</p> <p>■医療現場課題レポートの作成</p> <p>Day2のレクチャーを元に、今そこにあ る現場の課題、将来顕在化する課 題について、チームで議論し、所属組 織へのレポートとして取りまとめる</p>	<p>■ビジネスモデル・ デザインワーク</p> <p>課題解決のために乗り越えるべき前 提や思い込みを探索する</p> <p>■振り返り&amp;シェア</p> <p>議論を全体で共有し、組織への持ち 帰り方を考える</p>

## 講師



### 宇都宮 啓

独立行政法人国立国際医療研究センター  
国際医療協力局長

慶應義塾大学医学部卒。86年に旧厚生省に  
入省。医政局医事課医師臨床研修推進室長、  
同局研究開発振興課医療機器・情報室長、  
大臣官房総務課企画官、老健局老人保健課  
長、保険局医療課長などを歴任。  
今年度の診療報酬改定に関わった。



### Peeter Ross

タリン工科大学准教授  
エストニアeHealth財団元監査役員

エストニアは、X-Roadと呼ばれる市民  
データ集中管理基盤を用いた電子政府  
化を実現しているIT大国として知られ  
る。Ross氏は、X-Road上に展開された、  
世界最先端の国家的eHealthシステム構  
築の中心人物の一人。



### 黒田 知宏

京都大学医学部附属病院  
医療情報企画部長・教授

京都大学工学部情報工学科卒。奈良先  
端科学技術大学院大学情報科学研究科  
博士後期課程修了。13年8月より現職。  
仮想・強調現実感、福祉情報学、医療情  
報学、ウェアラブル・コンピューティン  
グ等の研究に従事。博士(工学)



### 田村 寛

京都大学医学部附属病院  
医療情報企画部 准教授

京都大学医学部卒。京都大学大学院医  
学研究科大学院眼科学(博士(医学))  
修了。05年京都大学医学部附属病院黄  
斑疾患治療センター(眼科)助教。08年京  
都大学医学部附属病院 診療報酬セン  
ター 助教。13年より現職。



### 加藤 源太

京都大学医学部附属病院  
診療報酬センター 准教授

京都大学医学部卒。大阪赤十字病院で  
救急医療に従事。09年より京都大学医  
学部附属病院救急部・医員、11年より  
厚生労働省保険局総務課・課長補佐と  
して勤務後、14年より現職。博士(文  
学)



### 後藤 励

京都大学白眉センター 特定准教授

京都大学医学部卒。神戸市立中央市民  
病院での内科臨床研修後、京都大学大  
学院経済学研究科で医療経済学の研究  
を行う。05年博士課程修了後、甲南大  
学経済学部講師・准教授を経て、12年  
より現職。

(注) 都合により変更となる場合があります。

## 詳細・申込み

<http://designinnovation.jp/program/designseminars/ds02.html>

## 京都大学デザインスクール産学交流イベントのご案内

新年会を兼ねて、「京都大学デザインスクール産学交流イベント」が開催されます。当日は、京都大学デザイン学大学院連携プログラムにおける教育及び運営について意見交換が行われる他、研究の最前線に立つ准教授クラスから最新の話題提供が行われます。多くの方々にご参加頂き、会員間及び京都大学デザイン学ユニットとの交流を深めて頂きますようお願い申し上げます。

一部日程のみご参加頂くことも可能ですので、夕刻からご都合が付く方は、講演会又は新年会からでもご参加頂けますと幸いに存じます。

日程：2015年1月20日(火)

場所：京都大学デザインイノベーション拠点（京都リサーチパーク9号館5階）

スケジュール：15:30-17:00 京都大学デザイン学大学院連携プログラム教育協議会・運営協議会  
17:00-18:00 講演会

講演1 「角膜イメージング法：人の視覚の新しい推定法と将来展望」  
中澤篤志（情報学研究科知能情報学専攻 准教授）

講演2 「形を決定する論理の導き手としてのダイアグラム」  
竹山聖（工学研究科建築学専攻 准教授）

講演3 「 $(\text{式の数}) < (\text{変数の数})$  の連立一次方程式と通信の問題」  
林和則（情報学研究科システム科学専攻 准教授）

講演4 「心理の個人差をデザインする遺伝と環境の関わり」（仮題）  
野村理朗（教育学研究科教育科学専攻 准教授）

講演5 「機械の運動の3次元計測」  
茨木創一（工学研究科マイクロエンジニアリング専攻 准教授）

18:00-20:00 デザインスクール懇話会（新年会）（会費:3,000円）  
（京都リサーチパーク1号館2階サイエンスセンタークラブ）

申込先：京都大学デザイン学ユニット企画サポート（12月19日(金)締切）  
unit-support@design.kyoto-u.ac.jp

## デザインフォーラム ワークショップデザインシリーズのご案内

日程：2015年1月24日(土) 13時～17時

場所：京都大学デザインイノベーション拠点（京都リサーチパーク9号館5階）

テーマ：デザインしない演劇ワークショップのデザインとは？

登壇者：蓮行氏（大阪大学コミュニケーションデザインセンター 特任講師）

概要：ワークショップって、事前設計・準備が大事ってホント？ それによって、失われるものって何？ 劇団衛星という演劇の専門集団を率いながら、大阪大学・青山学院大学でのワークショップデザイナー育成プログラムにて教鞭をとる蓮行氏から、何がワークショップのデザインなのか？ 何をデザインしないのか？を学びます。

参加費： 無料（懇親会参加者は、懇親会費1,000円予定）

申込方法：<http://wsdesign4.peatix.com/> （注）満員の場合がございますので、ご容赦下さい。

## コンソーシアム総会開催予定等について

コンソーシアム総会について、6月11日(木)又は5月27日(水)の午後を候補として、開催に向けた調整を進めることとなりました。今後変更の可能性もありますが、会員各位におかれましては、日程の仮確保を頂けますと幸いに存じます。

また、3月13日(金)～14日(土)には、国際デザインシンポジウムの開催が予定されております。詳細については追ってお知らせいたしますが、ご参加に向けてご予約おき頂けますと幸いに存じます。

# コンソーシアムの動き

## プロフェッショナル・デザインキャンプ開催報告

11月18日(火)~20日(木)に、東京・赤坂の(株)博報堂 本社 セミナールームにおいて、「プロフェッショナル・デザインキャンプ」が開催されました。

同キャンプは、日本電信電話(株)とダイキン工業(株)にリードカンパニーとなって頂き、「2025年徒歩5分圏内の空間の暮らし方を考える」というテーマを提供頂くとともに、博報堂イノベーションラボの協力で、会員各組織等からの参加を得て開催されました。

当日は、最初に実行委員長の京都大学大学院情報学研究所の石田亨教授より、趣旨説明があった後、リードカンパニーのNTTサービスエボリューション研究所主幹研究員の大野健彦様及びダイキン工業(株) テクノロジー・イノベーションセンター設立準備室イノベーション企画担当課長の小沢智様からオープニングトークがありました。

博報堂イノベーションラボリーダーの栗田恵吾様から、イノベーションの方法について講義が行われた後、その方法を具体的に実践するワークショップに入りました。

最初に、未来 이슈の策定が行われました。これは、今回のテーマ「2025年徒歩5分圏内の空間の暮らし方」について、これまでの自らの体験などに基づき未来の変化に関する仮説を検討するものであり、参加者に事前に課されていた宿題を踏まえ、各グループで検討が行われ、全体共有がなされました。

次に、スキミングクラスターの策定が行われました。これは、テーマから一転して離れ、博報堂独自の資料から、生活者視点で見た社会全体について想定外の社会変化仮説を洞察するものであり、インパクトと不確実性を軸に整理して、全体共有がなされました。

続いて、インパクトダイナミクスが行われました。これまでに策定した未来 이슈とスキミングクラスターが出会った時に想起される事象を検討する強制発想であり、既存の延長線上からの発想ではなく、不確実性の高い未来における新たな機会が導出されてきました。

これを受けて、未来シナリオ創造とアイディエーションが行われました。これにより、インパクトダイナミクスによって導出された機会の内容が具体化され、未来シナリオや新たなアイデアが描かれ、最後に、各チームの発表及びレビューが行われました。

今後、参加者それぞれの会社単独では得られない本デザインキャンプでの様々な業種の



参加者との議論で得た視点や発想及びイノベーションの創出手法を参加者が所属組織に持ち帰り、研究開発や事業化に活用するとともに、より本格的な検討を行うために参加企業との協業へと発展することが期待されます。

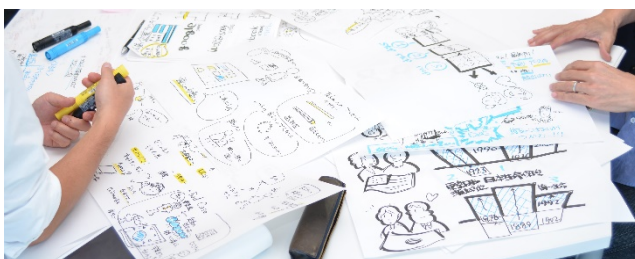
## デザインフォーラム ビジネスデザインシリーズ開催報告

10月23日(木)に、京都大学デザインイノベーション拠点において、デザインフォーラム ビジネスデザインシリーズが開催されました。当日は、大阪大学産業科学研究所の村松哲郎特任教授（元シャープ株式会社執行役員・本部長）から、「ユビキタス社会の要 端末ディスプレイの世界展開はいかにして成しえたか」と題して、講師自ら関わってきた中小型液晶の研究開発から生産、事業に至る過程を「新たなグローバルビジネス展開」の一つのケーススタディとして紹介しながら、新たな製品やサービスを生み出し世界に定着させるために必要な「モノ」「コト」、求められる人材とその育成などについて、実体験を踏まえた大変貴重な内容を講演頂きました。これを受けて、参加者との活発な意見交換が行われました。



## デザインフォーラム ワークショップデザインシリーズ開催報告

10月25日(土)に、京都大学デザインイノベーション拠点において、デザインフォーラム ワークショップデザインシリーズが開催されました。当日は、Yahoo! JAPANのUXデザイナーであり、Tokyo Graphic Recorderとして活動する清水淳子氏に、前半はグラフィックレコーディングのテクニックについてレッスンを頂き、後半はサービスや商品、空間などユーザーが体験するすべてを内包するUXデザインのアイデアメイキングのワークショップが前半のレッスンを実践する形態で行われました。Yahoo! JAPANの社内ワークショップでの事例も交えながら実践的な内容を教授頂く濃密なプログラムで、4時間があっという間に過ぎていきました。



## 推進委員会開催報告

12月15日(月)に、京都大学デザインイノベーション拠点において、コンソーシアム推進委員会が開催されました。当日は、プロフェSSIONナル・デザインキャンプなど、10月～11月に実施された活動の報告が行われ、意見交換が行われました。また、デザインセミナーSeries2などの今後の活動や新規入会承認、規程改正などの理事会付議について意見交換が行われました。



## フェロー会合開催報告

10月23日(木)に、京都大学デザインイノベーション拠点において、フェロー会合が開催されました。当日は、新たにフェローが委嘱された2名の方に京都大学学際融合教育研究推進センターデザイン学ユニットデザインイノベーション拠点フェローの委嘱通知書の交付が行われた後、各フェローから再度自己紹介を頂きました。

さらに、デザインフォーラムの2シリーズであるワークショップとビジネスのデザインについて、ワークショップからアイデアを如何に新事業創出に如何につなげていくか、また、海外視察等のフェローの活動についての意見交換が行われました。



## デザインイノベーション拠点フェロー紹介

正会員Aの組織は、京都大学デザインイノベーション拠点において、京都大学デザイン学と共に活動を行うデザインイノベーション拠点フェローを1名推薦することができます。

7月に5名の方に委嘱されましたが、今回、新たに2名の推薦があり、10月16日付けで京都大学学際融合教育研究推進センターから委嘱されましたので、ご紹介いたします。

### 牟田 英正 さん

現職：日本アイ・ビー・エム株式会社  
東京基礎研究所 専任研究員



日本IBM(株)にて10年間ソフトウェア技術者として様々な製品開発に携わった後、東京基礎研究所に異動。13年に渡り様々な研究に従事しつつ、博士号(工学)を取得。現在、エージェントベース交通シミュレーションとGAを応用した交通施策の探索に取り組んでいます。

デザインイノベーションコンソーシアムでは、多様な人々、多様な専門性、多様な考え方が融合することにより、特定分野の技術者、研究者の議論からは生まれえない斬新でワイルドなアイデアが生まれ、またそれを実現させるために、様々な分野のプロフェッショナル達が協力し合える環境を作れるよう微力ながら努めて参りたいと思います。

個人的には、難しい技術や研究を一般の人に分かりやすく、楽しく、美しく視覚化することに興味があります。異分野、異業種の皆様とのコラボレーションでこれまでにない斬新なものを生み出していけたらと考えています。

### 磯崎 彦次郎 さん

現職：株式会社野村総合研究所  
公共経営コンサルティング部  
主任コンサルタント



野村総合研究所では、事業戦略立案のコンサルティングをはじめとして、戦略より手前にあるコンセプトメイクでのイノベーション創出支援にも携わる。また、GOB-Lab及び埼玉大学大学院で研究活動を行っている。

デザイン思考を活用したコンセプトメイクをコンサルティングする場合、現場観察により新たな気づきを得たり、各種の思考法を駆使してアイデアの収束・発散を行うところは、成功裏に進めやすい。しかし、思考プロセスや思考結果を表現して改善する段階(プロトタイプ)でつまづくケースが多い。プロトタイプ段階の方法論は確立されていないことなどが原因と考える。

フェローとして、コンセプトメイクに必要な様々なプロトタイプ手法を観察・分類したり、実験的に特定の手法を試して検証したりする中で、プロトタイプの在り方をデザインしたい。

## 会員紹介

### 森ビル株式会社

森ビルは今年6月、東京都港区に虎ノ門ヒルズを開業いたしました。“幻のマッカーサー道路”と言われた環状2号線の整備を、立体道路制度を活用して完成させたプロジェクトです。地上部の「新虎通り」は2020年東京五輪に向けた“オリンピック道路”とも呼ばれており、“東京シャンゼリゼプロジェクト”にも指定されていることから、私共は周辺のハード整備に加え、地域のエリアマネジメントなど運用面でも貢献してまいります。

10月には、この虎ノ門ヒルズのカンファレンス施設「虎ノ門ヒルズフォーラム」で、「Innovative City Forum」というシンポジウムを開催しました。“20年後、私たちはどのように生きるのか 都市とライフスタイルの未来を描く”というテーマで開催された3日間のカンファレンスでは、先端技術・アート&クリエイティブ・都市開発の3つの切り口から、20年後の都市未来を議論しようと、国内外から24名の有識者・アーティストに登壇いただき、延べ2,200名超の参加者を得ました。会議の様子はホームページからご覧いただけます。

デザインイノベーションコンソーシアムの活動には、なかなか参加することが叶いませんが、この分野の人材育成の重要性は日々肌身感じております。コンソーシアムの発展のため、何かしらの貢献をさせていただきたいと思っております。

虎ノ門ヒルズに関する  
プレスリリース  
Innovative City Forum HP

<http://www.mori.co.jp/company/press/release/2014/06/2014060414000002797.html>  
<http://icf.academyhills.com/index.html>



Innovative City Forumの様子

### 株式会社日建設計

日建設計は、建築や都市がフローの時代からストックの時代に移り変わりつつある現在、狭義のデザインを超えて、顧客視点に立ったより広範なサービスを提供するため「ライフサイクル全般のデザイン・ビジネス（LCD）」をテーマに掲げています。プロジェクトの基礎調査に始まり、戦略立案、設計から運用、リニューアル・利活用に至るライフサイクルにおいて、グループ全体で新たなサービス開発と実践に取り組んでいます。

日常の取組として、様々な専門分野のメンバーが一堂に会するデザインレビューと称すプレストを開催し、プロジェクト初期段階から多面的な課題共有、提案の糸口発見、プロジェクト推進の勘所等について、創造的議論を行っています。また、よりイノベティブな取組みに挑戦するため、プロジェクト初期段階でブランディングやシナリオづくり等を行うNAD（Nikken Activity Design Lab）、BIM活用による設計効率アップと質向上の両立を目指す3D（Digital Design Development）センター等の部署も立ち上げました。

こうした中で、デザインイノベーションコンソーシアムに参画させて頂く機会を得、多分野にわたる先生方や企業の方々とのコミュニケーションの中から、弊社が模索する「広義のデザイン」へのヒントをつかむとともに、京都大学の「デザイン学」体系化という壮大なテーマの実現にむけて微力ながら協力させて頂きたいと考えております。



専門分野、役職を超えて創造的議論を交わすデザインレビュー